



morphosys

研究のヒントがここにある！ …かも

抗体職人 ニュースリリース③

MorphoSys社が自己免疫疾患検査用の 陽性対照として人工ヒトIgAを作製

<概要>

MorphoSys社は、抗cardiolipin抗体(以下ACA)を検出するELISAにおいて、陽性対照として使用できる人工ヒトIgAを作製したと発表しました。

ACAを持つ患者は、自己免疫疾患の一種である抗リン脂質症となり、反復性流産や血小板減少症を引き起こします。患者がACAを持つかどうかは、血清中のACAをELISA法により調べますが、陽性対照にはACA患者の血清が使われており、これは入手が非常に困難で、また、ロット差も問題となっています。

そこで、MorphoSys社は、ACA検出ELISAにおいて陽性対照として使用できる人工ACAを作製しました。まず、MorphoSys社の人工ヒト抗体ライブラリHuCALから、cardiolipinと β 2 glycoproteinの複合体に対する4クローンの候補抗体を得ました(ここまでわずか8週間)。このうち3クローンをIgAフォーマットに変換し、いずれも高い安定性を持ち、既存のACA陽性対照(Harris Standard)と高い相関性を示すことを確認しました。HuCAL由来抗体は、患者血清と異なり、完全ヒトモノクローナル抗体なのでロット差が非常に少なく、また、安定供給が可能です。更に、IgGやIgM等、別フォーマットへの変換も容易になっています。

この結果は、HuCALが自己免疫疾患検査用ELISAに必要な陽性対照の開発に非常に有用であることを示しています。

<原文は以下のプレスリリースにて報告されています。>

MorphoSys News

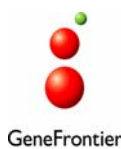
AbD Serotec to Present Next Generation Calibrators and Controls at 6th International Congress on Autoimmunity.

Released on-line on September 10, 2008

《以下のサイトから原文をご覧ください》

<http://www.ab-direct.com/about/news-release-613.html>

《続々報告予定》



ジーンフロンティア株式会社

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉5-4-19 東大柏ベンチャープラザ 308号室

Tel. 04-7137-6301 / Fax. 04-7132-7530

E-mail: info@genefrontier.com